

リフレッシュ理科教室決算報告書 (1/2)

2025年07月22日

公益社団法人 応用物理学会

リフレッシュ理科教室 WG 代表者 殿

開催支部または分科会 (支部・分科会以外に共催がある場合はすべてお書きください) : [共催] (一社)電気学会東海支部 [後援] 飯田市教育委員会, 信州大学こどもマイスター教室 (CMC) [協賛] 信州先端センサ・システム研究会 (SASS), 持続可能工農技術研究会 (sEAT), IEEE MAG33 Shin-Etsu Section Chapter, 信州大学次世代空モビリティシステム研究拠点
開催責任者 (支部長または分科会幹事長) : 橋本 佳男 (信州大学)
開催連絡責任者 : 曾根原 誠 (信州大学)
連絡先 : 〒380-8553 長野県長野市若里 4-17-1 W6-109 TEL 026-269-5198 / Email makoto@shinshu-u.ac.jp

以下のとおりご報告いたします。

(全会場分の収支をまとめてご記載、もしくは会場毎収支のご記載、どちらでも問題ありません。会場毎収支をご報告の場合は当ページを会場数分複製の上、ご報告ください。
 対面実施形式とオンライン実施形式で報告書の様式が若干異なります。)

事業名 : リフレッシュ理科教室 (副題) 2025(令和07)年度学会連携出張リフレッシュ理科教室 (第2回; 飯田市上村会場)	
リフレッシュ理科教室補助金額 : 106,023 円 (総額 230,000 円)	
開催日 : 2025年07月14日(月)	
開催場所 : 飯田市立上村小学校	
決算 (収入合計と支出合計は同額になります) (単位: 円)	
収入	支出
リフレッシュ理科教室補助金 106,023 円	印刷製本費 (資料・チラシ作成等) 0 円
参加費 0 円	賃借料 (会場費・プロジェクター等) 0 円
広告展示料 0 円	会議費 (弁当代等) 354 円
支部分科会からの支援金 0 円	通信運搬費 (郵送料等) 0 円
企業からの協賛金 0 円	消耗品費 (実験材料・文具代等) 122,727 円
助成金 (共催; (一社)電気学会東海支部) 37,470 円	雑費 (交通費) 20,412 円
	臨時雇賃金【支払人数計0名】(アルバイト賃金等) 0 円
	諸謝金【支払人数計0名】(講師謝礼等) 0 円
	システム利用料 (ZOOM, Webex 他) 0 円
	基金への返金 (or 支部・分科会への戻入れ) 0 円
合計 143,493 円	合計 143,493 円

決算報告書は、支部 (分科会) 会計後 1 か月以内に**応物事務局 教育企画委員会担当宛**へ各支部長・分科会幹事長に CC で共有の上メール添付 (WORD 形式) にてご提出ください (原本不要です)。講師謝礼金やアルバイト代については、**支払人数**を必ず記載してください。

リフレッシュ理科教室実施報告書 (2/2) (対面実施形式)

以下のとおりご報告いたします。

事業名：リフレッシュ理科教室

(副題) 2025(令和07)年度学会連携出張リフレッシュ理科教室 (第2回; 飯田市上村会場)

開催日：2025年07月14日(月)

開催場所 (同じ場所で複数回開催する場合は、日付も複数日ご記入ください)：
飯田市立上村小学校

参加者人数：合計56名

- 内訳
- ① 児童・生徒 : 41名 (全て小学生)
 - ② 保護者・一般 : 0名
 - ③ 教諭等 : 14名
 - ④ スタッフ等 : 1名

内容 (委員会での検討や本部への報告書作成のため、各会場の特徴や工夫していることなどについてご記入下さい。)

例：各会場の運営や参加対象などの特徴、教員対象の講演会・講習会、教育委員会との連携、地方公共団体との協力、他の団体との協力など。また、補助金に対する要望事項、他支部でも参考になる事項、良かった点、悪かった点など

※ここに掲載する写真等は応用物理学会HPに掲載しても良い内容をお願いいたします。

※肖像権などにご配慮いただき、後ろから撮影した写真等をご利用ください。

1. 各会場の運営や参加対象などの特徴

長野県の中でも青少年のための科学の祭典などの理科イベントに参加し辛い地域である南信地域の南アルプス山麓の小学校に通う児童を主に対象にしたこと。

2. 教育委員会などとの連携

飯田市教育委員会に後援になって頂いた。

3. 地方公共団体との協力、他の団体との協力

電気学会東海支部に共催、豊里区育成会、信州大学こどもマイスター教室 (CMC)に後援、信州先端センサ・システム研究会 (SASS)、持続可能工農技術研究会 (sEAT)、IEEE MAG33 Shin-Etsu Section Chapter、信州大学次世代空モビリティシステム研究拠点に協賛になって頂いた。

4. 補助金に対する要望事項

次年度以降も理科イベントが希薄な地域を中心に実施したいので本事業を継続して頂きたい。

5. 他支部でも参考になる事項

小学校を会場としたため、参加者数を予測できるので準備が容易であった。

また、低・中・高学年に対して、教頭先生らと協議の上、難易度を鑑みて実施内容をそれぞれ変えて実施した。

6. 良かった点

教諭の先生方 (校長・教頭も含む) にも同席して頂き、昨年度までと同様に児童達と共同で参加する形態にしたため、児童だけでなく先生方からも面白かったと好評を頂いた。

低学年には電磁誘導ブレーキをテーマにした工作と実験、中学年には光音声通信の工作と実験、高学年には発電と蓄電の仕組みについて工作を交えて実験した。

先述の通り、事前に教頭先生らと学年ごとで難易度を考慮しつつ内容を決めたため、概ね児童の皆さんに理解が得られ、楽しんで頂けたものと思われる。

また、上村小学校の教頭先生より、その近隣の和田小学校にもお声掛け頂き、2校合同で実施し、大きな効果が得られた。

7. 悪かった点

和田小学校の到着が遅れたため、和田小の低学年のみ両校の中学年と混じって実施することになった。低学年と中学年では実施内容が異なったため、説明と指導の時間配分が上手くいかず一部滞ってしまった。

また、日頃から“モノ”に触る機会が少ない児童が多いように感じ、電子部品の端子（足）を折る児童が多かった。端子をゆっくり曲げるように口頭で注意を促す必要があった。



第2回；飯田市上村会場の様子

実施報告書は、リフレッシュ理科教室開催後 1か月以内に**応物事務局 教育企画委員会担当宛**まで各支部長・分科会幹事長にCCで共有の上メール添付（WORD形式）にてご提出ください（原本不要です）。